



●NO. 549 2012/6 第3例会●



テーマ 『 Let' s Enjoy Rotary 』

- 創立日：S33年1月10日 ●RI加盟認証日：S33年2月6日
- 会長：沓名俊裕 ●会長エレクト：大見 宏 ●副会長：石川 博 ●幹 事：永谷文人
- クラブ会報：神谷 研 寺田孝司 恒川憲一
- 例会日：毎週金曜日 12:30~13:30 ●例会場：碧海信用金庫本店3F / 安城市御幸本町15-1
- TEL: 0566 - 75 - 8866 ●FAX: 0566 -74- 5678
- Email: anjo-rc19580206@katch.ne.jp ●HP: <http://www.anjo-rc.org>

第2690回例会

2012年6月15日(金)12時30分から13時30分
 司会者：山口研君
 ソング：「それでこそロータリー」
 卓上花：バラ レモンリーフ
 ゲスト：なし
 ビジター：伊吹治郎君（三河安城）

出席報告

出席委員会 兼松信吾君
 会員58名 出席義務者47名 出席37名 欠席10名
 出席免除者の出席8名 出席率81.81%
 修正出席率 6月1日 第2688回例会 100%

会長挨拶 会長 沓名俊裕君

Let' s Enjoy ROTARY

(“ロータリーを楽しむ”)

今日が46回目の例会で、今年度当例会場では最後のポイントによる会長あいさつとなります。

1年間、ありがとうございました。

(報告事項)

- 6/9(土) 地区役員会長幹事懇談会
名鉄グランドホテル



- 6/12(火) 地区大会企画委員会
場 所：ガバナー事務局
参加者：奥田、永谷、本間、沓名 4名



松前ガバナー 千田ガバナーエレクト



- 6/19(火) 会計監査
16:00~ 事務局
- 6/22(金) 本年度最終夜間例会
18:30~ 川本
- 10/27(土)・28(日)

「2012-2013年度 地区大会」
“皆で成功させよう！”



ウェスティンナゴヤキャッスル

地区大会は、皆様の協力なくして、成功なし！！
よろしくお願いたします。

(あいさつ)



沓名俊裕会長



安城RC点鐘

元気印会社の紹介

本日の元気印の会社は、トヨタ自動車株式会社です。
トップメッセージは「笑顔のために、期待を超えて」



トヨタ自動車(株)
代表取締役社長
豊田 章男 氏



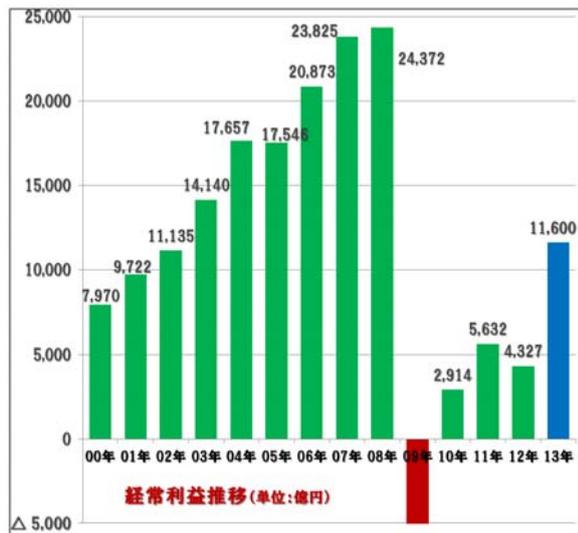
売上高 18兆5,836億円
経常利益 4,328億円
時価総額 10兆5,163億円

トヨタの従業員数は、約69,000人で、愛知県内に12工場があります。

会社の沿革は、

- ◆ 1933年 (株)豊田自動織機製作所に自動車部を設置
- ◆ 1936年 トヨタAA型乗用車 
- ◆ 1937年 豊田自動車工業(株)設立
- ◆ 1966年 カローラ発表 
- ◆ 1975年 住宅事業に参入
- ◆ 1982年 トヨタ自動車(株) (自工と販売合併)
- ◆ 1997年 プリウス発表 
- ◆ 2005年 レクサス全国開業

リーマンショック、トヨタショック、東日本大震災等
を乗り越えて、現在グループ企業での総販売台数年間
1,000万台へ再挑戦しています。



参考データ

2011年 企業別世界販売台数
GM903万台 VW816万台 トヨタ795万台
日産・ルノー739万台 現代660万台

トヨタ自動車の経験にあやかり、
ロータリークラブは、継続は“力”なり

という言葉で締めたいと思います。



沓名俊裕会長



永谷文人幹事



竹内通裕 SAA

幹事報告 幹事 永谷文人君

- *本日例会終了後、地区大会実行委員会を行います。
- *本日 18:30~ 川本にて次年度理事会を行います。
- *ゴルフ部会より 6/17(日)安城 RC コンペを葵 CC にて開催、登録料をお願いします。
- *ランチ同好会より 6/23(土)三谷温泉と鳥川ほたる学校を企画いたしました。
- *観劇同好会より 7/29(日)「桂三枝改め桂文枝襲名特別公演」の案内があります。

委員会報告

・雑誌委員会 委員長 富岡里美君

「ロータリーの友」2012年6月号の掲載記事の紹介。
縦組P.2 「いのちをつなぐもの 大震災のホワイトバード」
・いのちを救うヘリコプターについて、特にP.4の「防ぎ得た死」をなくすために、ぜひ読んでください。

縦組P.7 「50の手習い」で未来を切り開いた

縦組P.21 満100歳の祝賀会

横組P.11 「同論異論」ロータリーでいう親睦とは？

横組表紙の写真は、火花が線に写っていて驚きました。

・地区大会委員会企画担当 恒川憲一君

地区大会で安城RCと安城市の紹介を映像で紹介する予定です。皆さんの中で節目の写真をお持ちでしたらお貸しください。(7月13日までに)

ニコボックス報告 戸谷央君

本日のニコボックスメッセージの紹介。

卓 話

◇本日の例会

- ・クラブフォーラム
- ・テーマ：事業報告
- ・発表者：会長・会長エレクト・副会長・幹事・会計・SAA ガバナー補佐・IM 実行委員長・補佐杯実行委員長



会長 沓名俊裕君



本年は安城ロータリークラブ会員の皆様の多大なるご協力に先ず以って感謝申し上げます。昨年の地区協議会から本格的に準備が始まり 2011 年 7 月 1 日（第 1 回例会、2646 回）からスタートしました。

テーマは「LET'S ENJOY ROTARY」です。

本年度事業も順調に実施できました。その中でも IAC 年次大会、ガバナー補佐事業（ゴルフ大会、IM）を始め東日本大震災支援（テント支給）、伊勢神宮参拝例会、クリスマス家族会、カンボジア井戸掘り事業、植樹祭、児童虐待支援、会報電子化、JAZZ、さくら学園例会は印象深いものがありました。又、ニコ BOX が 200 万円を超したことは近年にない快挙であり、会員皆様のご協力に感謝申し上げます。

新たに 5 つの同好会（写真、ワイン&ジャズ、観劇、ランチ、俳句）（理事会で承認を得た公式な同好会）を発足し、ゴルフ部会と共にロータリー活動をより充実させ楽しい思い出をつくって頂きました。各同好会会長、ゴルフ部長に感謝申し上げます。

新会員募集は難しく、70 名を目標にしましたが 60 名にも達成することができませんでした。しかし、功労会員制度をつくり 7 名の功労会員ができました。ロータリークラブは卒業がありません。退会すればその時から縁が切れてしまうのは寂しいと思い、会員皆様のご承諾を得て発足させていただきました。

招待状をお送りしたところ 5 名の先輩が例会出席していただいたことは感無量でありました。あらためて先輩諸兄の皆様が一生懸命築き上げられた 54 年の歴史を感じることができました。これからも安城ロータリークラブと永いお付き合いをお願いし、ご指導を賜りたいと考えます。

最後に、今後益々安城ロータリークラブが成長、発展する様ご祈念申し上げ御礼の報告とさせていただきます。一年間、いたらぬ会長にご支援頂きありがとうございます。

「LET'S ENJOY ROTARY」

**** 2011-2012年度 ****

会長エレクト 大見宏君



2011 年～2012 年度安城ロータリークラブの会長エレクトとして、沓名俊裕会長のクラブ運営をしっかり勉強させていただきました。

本年度、当クラブは、細井英治ガバナー補佐を輩出し、西三河分区の I. M を見事に成功させました。また、インターアクトクラブの年次大会の開催、カンボジアでの井戸掘り、各種同好会の立ち上げ、花見例会、ジャズ例会など楽しい例会の企画、功労会員制度の新設などにより、今までにない楽しいクラブ運営ができたのではないかと思います。

私自身は、次年度の会長として、2760 地区の RLI (Rotary Leadership Institute)、PETS (Presidents Elect Training Seminar)、そして地区協議会と、まさに研修、研修の 1 年でした。

これらの貴重な経験を生かして、次年度の 2760 地区地区大会の成功、創立 55 周年記念行事の成功、そして円滑なクラブ運営に結びつけていきたいと思っています。

会員の皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

副会長 石川博君



1 年間沓名会長の足手まといにならないように努力したつもりです。沓名会長には、俳句、ワイン、写真、ランチ、並びに観劇と同好会をたくさん作っていただき、夫婦同伴で参加できる機会を多く作っていただき、ロータリーについて家内が見直してくれました。

東日本の支援には、安城 RC からテント 2 張りを贈っていただき、現地の支援にも何人かの会員や会員の友人にも行っていただきました。

2760 地区からは財団セミナーで 25 分間東日本支



援の活動状況について発表機会をいただきました。

また、その講演を聞いてくれた名古屋栄RCからは、6月25日に復興資金の助成として、安城RCへ50万円の寄付を託していただき、その用途は無条件でよいというありがたい支援をいただきました。この貴重な浄財は今後の支援活動に充てさせていただきます。

なお、2760地区では東北支援を高校生の援助として今後3年間続けるそうです。

幹事 永谷文人君



今年度事業の柱

①組織拡大

②ガバナー補佐の支援

についてまず、評価と反省します。

①について、

評価項目…会員純増5名

厳しい環境の中で、この数字は評価できると思います。

反省項目…目標の会員70名には、残念ながら及びませんでした。

いろいろ初めての試みも行いましたが、目標達成できませんでした。現実を厳しく受け止め、「何が原因なのか？」を追求し、次に繋がりたいです。

②について

ガバナー支援は、当クラブとして充分できたと評価できます。「ゴルフ大会」も[IM]も両方とも、大成功でした。

今年度は、会長方針[Let's Enjoy ROTARY]をより幅広く実践できるよう行動しました。

会員皆さまのご協力誠にありがとうございました。ただただ感謝のみ。

会計 丸山光夫君

収入項目では、ニコボックス資金を予算に入れました。入会金も予算どおり収受できました。

支出項目は、予算超過なく締められそうです。

皆様予算内執行にご協力いただき、感謝いたします。



会計 丸山光夫君

S. A. A. 竹内通裕君



本年度は、クラブ活動の原点である、例会が、より充実できればという思いで進めてまいりました。幸いにも、杳名会長の斬新な会長挨拶により、例会が、明るく、和やかなもととなり、当初目指した、会員の皆さんに、例会が、有意義でかつ、楽しい時間であったのではと思います。これもひとえに、関係委員会、特に、山口委員長をはじめとする会場委員会の皆さんのご協力に厚く感謝申し上げます。

それから、インターアクト年次大会も大成功に終えられ、会員の皆さんに感謝いたします。

ガバナー補佐報告 細井英治君



安城RCより選出され本年度ガバナー補佐を勤めさせていただきました。年度前よりガバナー補佐研修を終えて2011年8月3日三河安城RCを皮切りに10月12日の知立RCまでの9クラブの「ガバナー補佐訪問」の日程を無事終えました。そして11月23日には、成瀬介宣ガバナー補佐杯ゴルフ大会実行委員長を中心に「ガバナー補佐杯親睦ゴルフ大会」を163名の出席をいただき葵カントリーを貸し切って盛会に開催することができました。2012年2月19日は、石原昭IM



実行委員長のもとでホテルグランドティアラ安城にて、西三河分区9クラブによる「インターシティー・ミーティング」を開催し、500名の登録で355名の出席をいただき盛会に開催することができました。

本年度のIMのテーマを「友達をつくろう」としました。分区内の会員の皆様が一堂に会し、親睦と友情を深め、ロータリーを一層理解することを主眼とし、松前ガバナーの方針である「会員増強とクラブの活性化」に沿って実のある大会になるよう心がけました。

この度は、盛田和昭パストガバナー（名古屋RC）をお迎えして「ポールハリスは友達が欲しかった」と題してロータリーの原点を学びたいと考え、盛田和昭パストガバナーには、ロータリークラブがどのようにして生まれたか？どのようにして発展していったか？ロータリークラブはどのようにあるべきか？などなど、わかりやすく講演いただきました。そして講演後「ロータリーの友達づくり」と題してフォーラムを開催し、9クラブからそれぞれのテーブルに別れていただき9つのテーマに沿ってディスカッションしていただき、クラブを代表して9クラブより発表をお願いいたしました。その際には、会員の皆様には、大変なご協力をいただき深く感謝申し上げます。初めての試みで戸惑いもありましたが、皆様のご理解とご協力により最後まで有意義な会議となりました。フォーラム終了後、盛田和昭パストガバナーより講評をいただき、その中で私たちはいつも「IM」と読んでいますが本来は、「IDM」が正しいとの解説をいただきました。「I」はインターシティー、「D」はディスカッション、「M」はミーティングであります。今回私たちが行った9クラブでのディスカッション方式はそれに沿ったものと高い評価をいただき、充実した会議となったと思います。そして懇親会を通じて友情の輪が広まったことと思います。以上、1年間を通して行ってまいりましたガバナー補佐の行事、また無事に任期を全うできましたのも、杵名会長をはじめ寺田分区幹事、奥田分区副幹事、各役員の皆様、そして会員の皆様とクラブを挙げてご協力をいただいたからこそであります。ここに衷心より深く感謝申し上げます。

IM実行委員長 石原昭君

今回のIMの開催にあたり、神谷学安城市長並びに講師として盛田和昭パストガバナー、そして各クラブから500名の皆様にご登録（出席355名）をいただき、誠にありがとうございました。

本来IMは「分区クラブが集い、親睦・研修などの場として行なわれる会」ですが、近年親睦にウエイトが高

まっているようです。私は「クラブの活性化、即ち、友情を深めよう」と考え、従来とは少し内容を変えることとしました。



そこで西三河分区9ロータリークラブの皆様が9つのテーブルに分かれ、ロータリーの基本である9つのテーマについて話し合っていたいただくこととしました。そして代表の方にその結果を発表していただきました。

少し肩苦しく感じましたが、無事に目的を果たすことができ、皆様方に感謝申し上げます。

ガバナー補佐杯実行委員長 成瀬介宣君



ガバナー補佐杯親睦ゴルフ大会は、ショットガン方式という複雑な方式を採用しましたが、運営はスムーズにできました。

懇親会も参加者がほとんど帰宅すること無く最後までいてくれて感動しました。

大会運営はスケジュールを確認しながら、クラブの会員全員が協力していただき支えていただければ、この団結力は安城RCの宝であると実感しました。皆様本当にありがとうございました。

◇ ◇ ◇ ◇ 例会必需品等 ◇ ◇ ◇ ◇

